

Patient Information Sheet (Japanese) 患者向け情報シート

MRI - Magnetic Resonance Imaging 磁気共鳴画像診断 (MRI)

1. MRI とは何ですか？

磁気共鳴画像診断 (MRI) は身体の画像を得るために高磁場と電波、コンピューターを利用する高度な画像診断方法です。MRI は X 線を利用しません。

MRI の画像は非常に詳細で、体内の骨と軟部組織の両方を写すことができます。

MRI の安全性

- MRI 検査室への入室を許可される前に必ず、安全に関する一連の質問に答え、全ての金属類 (例、貴金属、眼鏡、携帯電話) を体から外さなくてはなりません。
- 高磁場のため患者の中には MRI 検査を受けることができない方もいます。それは金属インプラントを埋め込んでいる方で、次のようなものが含まれますが、それらに限定されるものではありません。心臓ペースメーカー、脳動脈瘤クリップ、目に入った金属の削りくずなどの異物。
- 安全に関する質問にできるだけ正確に答えることがとても重要です。体内に埋め込んでいる可能性のある全てのインプラントについて (どんな種類のものでも) あり得るリスクを明確にするため、MRI スタッフと必ず相談してください。



2. 不快感はありますか、麻酔は必要ですか？

MRI スキャンは痛みを伴わない手順で、麻酔は不要です。

MRI 装置の内部は狭いトンネル型のスペースのため、その中にいると不快を感じる人もいます。これは「閉所恐怖症」として知られています。もしこれが起こった場合は助けになる様々な方法がたくさんあるので、スタッフにお知らせください。

まれに、患者がスキャンを完了できるようにするため、薬が必要になることがあります。もしスキャンのため

に薬が必要な場合は、MRI スタッフとその手順を確認してください。

3. 検査前の準備

医療画像科が検査前の準備方法を患者に指示します。

- 妊娠中または妊娠の可能性があり、もしくは授乳中の場合はスタッフにお知らせ願います。

4. 検査中

スキャン中には特に何も感じません。画像撮影に使用される電波は非常にうるさく、大きな音やドンドンという音が聞こえることがあります。騒音から耳を保護するためにヘッドフォンまたは耳栓をお渡しします。

スキャン中 MRI スタッフは検査室内にいませんが、患者を見守りスキャンの合間にインターホンで話すことができます。もし必要な場合に患者が呼ぶためのコールボタンもあります。

MRI スキャンの所要時間は 15 分から 90 分です。スキャン中は完全にじっとしたままの状態を保つことが非常に重要です。少しでも体を動かすと画像がぼやけてしまうことがあります。

スキャンを行う部位によって、MRI 造影剤を投与することがあります。

MRI 造影剤注入のために細い針 (静脈カニューレ) を患者の腕から静脈へ刺します。

MRI 造影剤とその使用に伴うリスクに関するより詳しい情報については、**MRI 造影剤の患者向け情報シート**をお読みください (この情報シートを持っていない場合は、頼んで入手してください)。

5. 検査後

静脈カニューレを外します (もし挿入した場合)。

MRI を受けることによる既知の副作用または後遺症はありません。

6. この特定の検査に伴うリスクは何ですか？

この検査では以下を含むリスクと合併症を伴うことがありますが、それらに限定されるわけではありません。

よくあるリスクと合併症は以下を含みます。

- 静脈カニューレによる軽い痛み、あざ、および/または感染。これは抗生物質による治療が必要になることがあります。

たまにあるリスクと合併症は以下を含みます。

- たまにある既知のリスクはありません。

まれにあるリスクと合併症は以下を含みます。

- この検査の結果として死亡することは極めてまれです。

医師/医療関係者と相談する事柄のメモ:



**Queensland
Government**

PATIENT INFORMATION SHEET ONLY

NO DOCUMENTED CONSENT REQUIRED

Unless patient is renal impaired

If a documented consent is required
Interpreter Services *must* be accessed